



# 青少年教育センター だより

〒857-0056 佐世保市平瀬町3番地1 Tel 22-0781

## ◇現場補導(愛のひと声)状況報告より

令和5年3月号 No.527号

一般・学校補導委員には、各地区補導委員連絡協議会において、実施した補導活動の報告を毎月提出していただくことになっています。その報告から1月の状況をお伝えいたします。

- ・小学生がよく挨拶してくれます。中学生は部活帰りで挨拶もきちんとできています。嬉しく感じます。(山澄補連、祇園補連、吉井・世知原補連)
- ・朝登校する地区内にある高校生の挨拶が素晴らしいです。(清水補連)
- ・土・日は、制服のまま派手な化粧をしている高校生がよく目につきました。(祇園補連)
- ・1月中旬に、東山町で下校中(16:00頃)の女子生徒2名が、40~50歳の男性に、背負っていたリュックを叩かれるという事案がありました。その男性は、走ってやってきて、その行為をした後そのまま逃げたということです。(福石補連)
- ・桧台にいた小学生が、中里駅前バス停から踏切までの道路を広がって歩いていたので、歩道を歩くよう注意をしました。また、自転車で公園に来た児童の一人が、ヘルメットなしの状態での運転をしていたので注意をしました。(中里補連)
- ・18:50頃、下本山団地で、帰宅中の高校生1名がスマホを見ながら歩いて危険だったので、やめるよう注意をしました。(中里補連)
- ・中里駅前で、下校中の中学生から、今日道路上で石けりをしていた石が通行中の車に当たったという事案が発生しているとの情報提供をいただきました。(中里補連)
- ・小学生による下校時の自家用車の傷つけ、下校時のゴミのポイ捨て(家と家の隙間など)があるとの報告を受けました。(光海・愛宕補連)
- ・地域の方から、「大野教会近くの歩道を歩いていた中学生男子3名が、石を蹴って遊んでいた。蹴った石が車道を走っていた車に当たり、フロントガラスが破損した。」との連絡があり、生徒に情報提供の呼び掛けと注意喚起をしています。(大野補連)



## ◇令和4年度 青少年教育センター少年補導委員補導状況 ※1月末現在

【補導回数】 924回 (昨年実績868回)  
 【補導状況(愛のひと声)】 3,982件 (昨年実績2,725件)  
 【補導従事者延人数】 2,572名 (昨年実績2,302名)



### メンタルフレンドに 会ってみませんか？



当センターでは、「メンタルフレンド」という、悩みを抱える小・中学生に寄り添い、力になりたいと希望する大学生等ボランティアを、学校への登校を渋ったり家にとじこもったりしている児童生徒の自宅等に派遣する取組を行っております。そこでは、趣味などの話をしたり、ゲーム等を一緒に行ったりすることで、人との関わりに慣れ、さらには、学校やあすなる教室等、家庭から一歩足を踏み出すきっかけのお手伝いをできればと考えています。「詳しく知りたい」「試しに利用してみたい」と考えておられましたら、新年度(4月)以降、実施回数拡大の準備をしておりますので、当センターメンタルフレンド担当まで、お気軽にご連絡ください。

Tel 22-0781

# ◇「あすなろ教室【学校適応指導教室】閉級式」について

## 閉級式 式次第

- (1) 開式のこぼ
- (2) 教育長あいさつ
- (3) 所長あいさつ
- (4) 通級生のこぼ
- (5) 閉式のこぼ

2月14日(火)に「あすなろ教室」の閉級式を行いました。あすなろ教室1年間の節目として、通級生一人一人が相互の成長を認め、自信をつける機会とすること、また、卒業や進級に向けて通級生が気持ちを新たに、学校への再登校や進級・進学につなげる契機とすることを目的として実施をしております。今回は、コロナ禍のため3年ぶりの実



施となりました。

式次第に沿って進む中で、(2)では西本教育長から「この教室で積み重ねた活動で得た『自信』と、手にした『成長』を糧に、『自分の一歩』を信じて、次のステージへと歩みを進めて欲しい。」とのお話があり、(3)では、川口所長から「これから先の人生困難や嫌なことにぶつかるときこそ、あすなろ教室で培った力や『ちょっとだけやる気と本気』になって、『ちょっとだけ根気強く』、『ちょっとだけ前』に進んでいく勇氣と元気』をもつ姿勢で、自分自身のさら



なる成長につなげてほしい。」とのお話がありました。通級生はみな、真剣に耳を傾けていました。そして(4)では、5名の通級生が1年間を振り返った思いを述べました。心に響く内容のためか、参加した保護者、来賓、学校関係者の中には、涙する人もいました。抜粋して紹介します。

あすなろに通う前は、家に居て勉強へのやる気があまりなく、不登校だったので土日祝日以外は人目が気になり、外に出るのはおっくうになっていました。個別であすなろに通っていた時は、「中学生の人たちの方が多みたいだからなじめそうにないな。」と思っていたのですが、教室に通い始めて1か月程経ったころには楽しくて、ほぼ毎日通えるようになりました。6年生からは、学校に行けそうなときは学校に行き、無理な時はあすなろ教室に行きたいです。お母さんが毎日何をしたら聞いてくれるのがうれしいので、学校で何をしたらかを話せるように、学校にもかよえるようになりたいです。

僕は、あすなろ教室で成長したことや学んだことが2つあります。1つ目は、勉強することの大切さです。僕はあすなろ教室に通う前、全然勉強もせず遊んでばかりいました。でも、あすなろ教室に通って先生方のサポートもあり、少しずつ勉強する習慣がついてきました。そして3年生になり、受験が近づいてきて、今の勉強では足りないと思い、受験に向けてもっと頑張るようになりました。2つ目は、気持ちが前向きになったことです。あすなろ教室に通う前は、気持ちが沈んでいました。でも、ここに通って少しずつ友達とも楽しく過ごせて、気持ちが前向きになっていきました。これからも、あすなろ教室で過ごして学んだことや成長したことを忘れずに、高校生活を楽しく過ごして頑張りたいです。

私は中3の終わり頃から人間関係のもつれにより、学校へ行くことが怖くなりました。ですが、兄が私の年齢の時は、部活で主将を務め、生徒会に所属していました。その姿を見ていたことにより、「不登校にはなりたくない。」という心の葛藤がありました。母があすなろ教室を見つけてくれたことにより、その辛さが無くなりました。そういった家族のサポートがあり、曖昧だった「介護用ロボットを作る」という夢が現実の目標へと変わりました。現在は高校に入るため奮闘中です。今考えると、私よりも母の方がずっと不安だったと思います。ですが、一番私を助けてくれて、ずっとそばにいてくれました。私は幸せな環境が見つかり救われました。ただ、ほかに居場所がなく困っている生徒も多いと思うので、そういう人のためにあすなろ教室のような、心を回復できる場所が近くにあり、私のように辛い思いをしている人が少しでも安心して過ごせるようになってほしいと思います。

今年度も残りわずかとなりました。通級生一人一人が自信をつけ、次のステップに進むことができるよう、学校、保護者と連携をし、支援を進めていきます。